

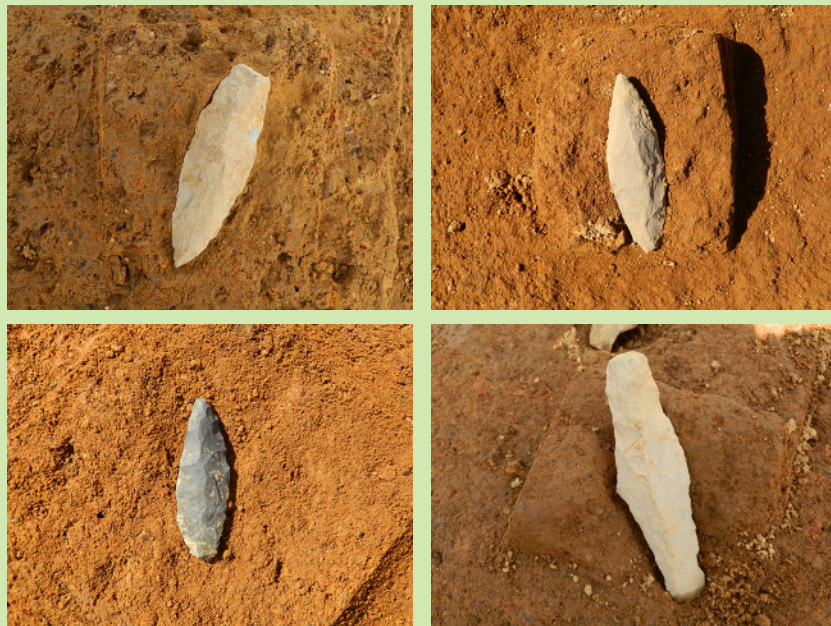
【縄文時代草創期の遺物出土状況】



遺物は尾根の上に集中して出土しました。写真の白い串は石器、赤い串は炭化物の出土地点です。

石器は860点、炭化物は1万1千点が見つかりました。

【縄文時代草創期の槍先形尖頭器】



【頁岩製搔器】

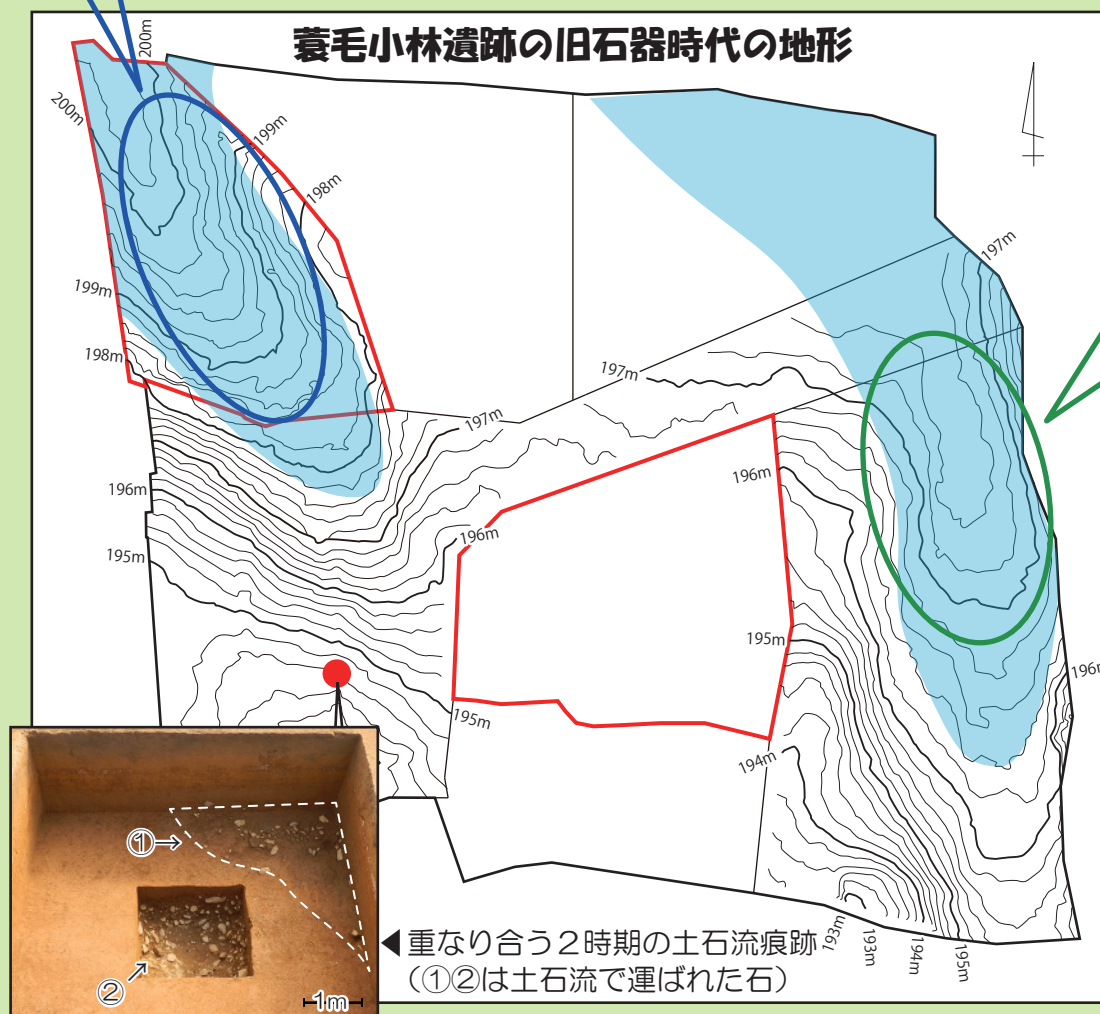


縄文時代草創期の槍先形尖頭器は関東で入手できる石で作られています。頁岩という石で作られている搔器は東北産のものとみられ、3点が出土しています。

【縄文時代草創期の配石遺構】



石を組んで作られた、2基の炉の跡と考えられます。



縄文時代と旧石器時代には、上の図のように東西2か所に尾根状の地形がありました。縄文時代草創期と旧石器時代の遺物は、尾根状地形の高い場所で出土しました。

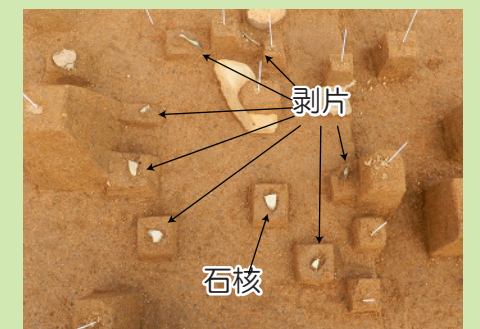
低くなっている場所では複数の時期の土石流痕跡が見つかり、当時の人々がこうした災害を受けやすい場所を避けて、生活していたことが分かります。

【約2万1千年前：槍先形尖頭器の製作跡】



約2万年前の地層から254点もの「槍先形尖頭器」が出土しました。中には作りかけのものや壊れてしまったものもありました。

【約2万3千年前：ナイフ形石器の製作跡】



約2万3千年前の地層からは「ナイフ形石器」の製作跡が見つかりました。素材となる剥片(はくへん)を石核(せきかく)から打ち欠いて、さらにナイフ形石器へ加工していた様子が分かります。

【約2万5～7千年前：石器製作跡と礫群】



約2万5～7千年前の地層からはナイフ形石器や搔器、角錐状石器などの多様な石器と、「礫群」が見つかりました。



新東名高速道路(秦野市蓑毛地区)
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
蓑毛小林遺跡 発掘作業見学会資料
2017(平成29)年7月15日
公益財団法人かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市中区中村町3-191-1
Tel: 045-252-8689/HP: <http://kaf.or.jp>
「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」